

2017年3月30日
日本液炭株式会社

中部地区における液化炭酸ガス増産及び貯槽の増設について

日本液炭株式会社(社長:賢持善英、本社:東京都港区、以下「当社」)は、液化炭酸ガスの安定供給のため、中部地区において液化炭酸ガスの増産及び貯槽の増設を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景

当社炭酸事業は、石油やアンモニアメーカーで発生する高濃度な炭酸ガスを原料とし、液化・精製することで液化炭酸ガスやドライアイス製品を製造し、販売しておりますが、近年、燃料油需要の減少や国内アンモニア製造停止を受けて、原料炭酸ガスが大幅に減少し、製品需給が逼迫しています。今後もこれらの業種からの原料炭酸ガスは更に減少していくと想定し、中部地区の当社主力生産拠点である『知多炭酸株式会社(出資工場)』において液化炭酸ガスの増産および貯槽の増設を行います。

本計画は、知多炭酸の設備更新計画に合わせて機器の能力増強を行うことにより、ドライアイス製造時のロスの削減やボトルネックを解消することで液化炭酸ガスの生産量を増やすものです。

知多炭酸では、2015年末にも同様の増産工事を行っており、併せて約25%の液化炭酸ガスの増量となります。

原料炭酸ガスの構造的な減少に対し、当社は既に水島工場の新設により西日本の拡充を行っており、加えて今回の計画で中日本～東日本についても更なる安定供給体制を確保することができます。当社は、今後も炭酸事業における販売・供給ネットワークを充実し、基盤事業の持続的成長を図ります。

2. 液炭設備の概要

- ①生産能力の増強 : 液化炭酸ガス約22,000t/年(70t/日の増産)
- ②増設貯槽 : 850t球形
- ③完成時期 : 2018年12月
- ④投資額(知多炭酸) : 約12億円

以上

本件に関するお問合せ
日本液炭株式会社
東京都港区芝4-1-23
炭酸事業本部炭酸営業統括部 TEL03-6722-2251

日本液炭(株) 液化炭酸ガス・ドライアイスの生産基地

参考資料

自社：日本液炭の自社工場

出資：日本液炭が出資する工場

契約：契約により液炭を引取っている工場

生産品目

液炭：液化炭酸ガス

ドライ：ドライアイス

